

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん載っています

作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

最後の快晴 (悦)

今年の最終回は晴天に恵まれました。今回は、沢沿いの小径を通り、南コースを池へ。池でのんびり昼食をとり、野鳥の小径を駐車場へ戻るというコースです。野鳥の小径は余り利用しなかったのですが、ネズと他では観察できないアサダの若木に樹木札を掛けました。



実たくさん (佳)

木々の紅葉もきれいだったし、それぞれの実がまた可愛らしく、小鳥などの大事な餌にもなるであろう実りに満足。黒さんに真似て食べると、コバノガマズミ、うん美味しい。



コバノガマズミ



アブラチャン



ナツハゼ



ムラサキシキブ

運動不足解消 (池)

私の参加動機、いつもの運動不足解消ですが、今回は紅葉の写真狙いも兼ね愛用のソニーカメラα7III持参で参加しました。紅葉は1カ所では撮れませんでした。がマムシグサの中身や紫のキノコなども撮れ、良い日でした。容量が大きく送れなかったのが残念。



記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。

《取扱所》 茅野市観光案内所
(茅野駅ビル2F)
原村 自家焙煎珈琲の店 香芯
《問合せ》 NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会
☎: 0266- 75-1772

「終わりよければすべてよし」の気分 (SU)

「赤い鳥小鳥 なぜなぜ赤い 赤い実を食べた」最後の観察会では赤い実をたくさん見かけました。大きさ・形・色合いが、微妙に違って、ついでに味も違いました。

「白い鳥小鳥 なぜなぜ白い 白い実を食べた」大好きなエナガが、小さいのによく響く声でさえずりながら飛び回っていました。(白い実は見かけなかった…エナガは虫を食べるらしい)

「青い鳥小鳥 なぜなぜ青い 青い実を食べた」サワフタギの青い実は、いつ見ても美しいと思います。クサギの実も赤？青？どちらにしましょうか。

実たくさん (そ)

●秋色の吉田山には、コバノガマズミ・ミヤマガマズミ・カマツカ・アオハダ・等々の赤い実が沢山ついていました。それぞれ微妙に大きさや形に違いがあり面白かったです。

●コクサギの実はとても可愛く、ブローチにしたいくらいです。

●赤い実が多い中、サワフタギの深いブルーの実が印象的でした。



テンナンショウ(マムシグサ) (滝)

11月の吉田山で、秋の一日を楽しみました。赤い実、とひとくちにしても「ガマズミ、コバノガマズミ、サルマメ、カマツカ、アオハダ、ミヤマガマズミ」といろいろあり、まだまだ区別はつきません。「テンナンショウ(マムシグサ)」だけわかりました。

11月に観察した昆虫 (悦)

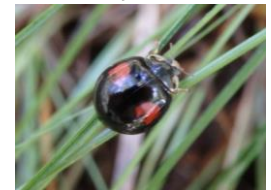
蝶:②109~118

- オオムラサキ幼虫
 - カレハガの幼虫
 - ナシケンモンの幼虫
- トンボ:②127~128
- オオアイトトンボ?



その他

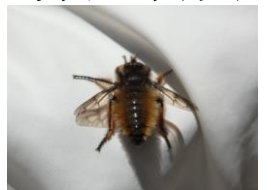
- ナミテントウ



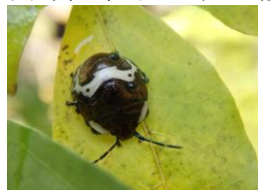
- セアカツノカメムシ



- ハタケヤマヒゲボソムシヒキ



- アカスジキンカメムシの幼虫



- クリオオアブラムシ

この風景は (矢)

紅葉を撮影する人、野鳥の小道を歩く人、いずれも人の手により適度に森を管理(整備)しているからこそこの風景なのかなと思います。

自然は厳しくもあり、優しくもあり、これからどう変化していくか読めませんが、市民の森が市民の森であり続けるよう、祈りたくなるような写真です。(と思います！)



キノキたくさん (悦)



例年の11月はキノコは余り目に付きませんが、今年は、(口)さんのびくはきのこが一杯でした。矢張り暖かいせいでしょうか？



秋 (11月)

東コース 1.0Km
池⇨横河口
→20分 ←25分
ほぼ平坦

せせらぎコース 1.2Km
南コースとの分岐⇨横河口
→35分 ←40分
ほぼ平坦

中央コース 1.5Km
山頂広場⇨池
→25分 ←35分
(標高差100m)

1.3Km
駐車場⇨山頂広場
→60分 ←45分
(標高差100m)

南コース 1.8Km
駐車場⇨池
→40分 ←50分
ほぼ平坦



深まる秋そして来春の準備へ (口)

- カラマツは黄金色にして落葉に
- カマツカは紅葉して市民の森で沢山発見
- センボンヤリの綿毛、風を待ち新天地へ
- 落ちたドングリは帽子を外し、発芽



- ミヤマガズミの葉は革細工の風合い
- コバノガズミに小さな托葉発見。



葉を外してみると托葉がよく見えます。



実りの季節なのか? (黒)

この11月という時期、なんという実りの季節なのかと驚くばかりのたわわな赤い実をたくさん目にしました。ガズミ、ミヤマガズミ、コバノガズミ、オトコヨウゾメ、カマツカ、アオハダなどなど、見ているほうが赤く染まりそうなくらいに沢山の赤い実。しかも、その大半がおいしい！小鳥もうれしいだろうし、私たち人間も目に美しく、かつおいしくてうれしい。さらに青い実のサワフタギ、黒い実のナツハゼ。ナツハゼのジャムは何とも言えない野趣があり、おいしい。

と、食べることはばかりですが、紅葉も、やっぱり、なかなか。特にカマツカの特徴的な色合いの紅葉は特筆できるものです。そして、花では、やっぱりセンブリ。開花時期に間に合わなかったけれど、確かにここに生きていることが確認できてうれしかった。来年は花咲く姿を見たいものです。



アオハダ

ガズミ属の比較 (悦)

4種のガズミ属の区別が難しかったので纏めて見ました。

特徴	ミヤマガズミ	ガズミ	コバノガズミ	オトコヨウゾメ
葉の形	長さ 7~15cm 広倒卵形から倒卵状円形 先端尾状に伸びる	長さ 6~15cm 広卵形から円形 先端は鈍頭または鋭頭 基部は広いくさび形またはやや心形	長さ 9~10cm 倒卵状長楕円形 先端は尖る	長さ 4~8cm 卵形
葉の鋸歯	鋸歯が目立つ	あらい	あらくて鋭い	あらくて鋭い
葉の表面	普通無毛でやや光沢あり	脈に毛があり、裏面に腺点密集、星状毛や短毛がある	両面に星状毛、脈に沿って長い綿毛	ほぼ無毛
葉柄	1~2cm	1~2cm	5mm以下 一対の托葉がついていることが多い	ほぼ 5mm
果実	6~9mmの卵球形	6~6.5mmやや扁平な卵状楕円	6~9mmのやや扁平な卵球型	8mmの楕円形で垂れ下がる

参考：山と渓谷社 山溪カラー年鑑 「日本の樹木」
小学館 フィールド ガイド 22 「葉で見わかる樹木」
信濃毎日新聞社 「花実でわかる樹木」